

**青年の願いを実現する新しい政治をつくる歴史的選挙。日本共産党躍進によって政権交代を起こそう！ 自らの選挙としてたたい、青年の中に共産党躍進と政権交代の波を起こしながら、新しい政治を引き寄せよう！！**

2021年9月26日 民青同盟中央委員会

来たる総選挙は、日本共産党躍進によって政権交代を起こし、青年の願いを実現する新しい政治をつくる歴史的な選挙です。私たちのもっている力を出し切ってたたいことを呼びかけます。自らと青年の願いを実現する選挙として、自分たちの選挙としてたたいましょう。青年に大きな希望を語り広げ、青年の中に共産党躍進と政権交代の波を起こしながらたたいましょう。同時に、選挙の中で、かけがえのない同盟を強く大きくしながらたたいことを呼びかけます。

### **1、青年の願いを実現する野党連合政権を樹立する歴史的総選挙**

(1) いま青年はどのような実態を抱えているでしょうか。学生からは「バイトがないのに学費はそのまま。どうやって生活しろというのか」「一日一食で生活をしている」「友だちが少なく、学校行事もないので本当につまらない大学生活」といった声が寄せられています。高校生からは「一回しかない高校生活なのに。ワクチンを打とうと思っても抽選で当たらない」「同じ県なのに、修学旅行が中止になったりならなかったり、学校ごとに対応が違う」といった声が寄せられています。働く青年からは「派遣の更新がされるか不安」「リモートワークがない。感染が不安な中で働いている」といった声が寄せられています。医療現場で働く青年からは「勤務が厳しくて、仕事と食べる、寝るしかできない。毎日、残業と、残業」「家族も患者さんとの最後のお別れに立ち会えない。そのことが本当に辛い」といった悲痛な声が寄せられています。青年は、コロナ危機のもとで最も苦しめられている階層の一つではないでしょうか。

(2) 青年の苦しさは、青年の自己責任ではありません。青年を感染拡大の元凶のように扱ったり、その苦難を青年の努力不足のせいにしたたりするのは誤りです。長引くコロナ危機も、それによる青年の苦難も、明確に政治の責任です。青年が自粛したとしても全く補償もしないし援助もしない。PCR検査もワクチン接種もなかなか受けられない。学費減免は大学任せ。運動に押されて学生支援緊急給付金が一回実施されたものの、それも一部の学生にとどまる不十分なものでした。「政治は青年に冷たかった」。これが多くの青年に共通する思いなのではないでしょうか。

(3) 9月3日、菅首相が退陣を表明しました。オリンピック・パラリンピックに固執し、個人や個々の自治体・医療機関にコロナ対応を押し付けた新自由主義的政治が、青年・国民から見放された末の破たんです。総選挙が近づくなか、菅政権の支持率が低下を続け、「このままでは勝てない」という危機感が自民党を大きく動揺させたのです。コロナ危機のもと、新自由主義的政治を批判し、安倍・菅自公政権を追いつめてきた私たち青年・国民の世論と運動を大いに確信にしようではありませんか。

(4) 安倍・菅自公政権の新自由主義的な政治路線を支えてきたのが、自民党です。福祉切り捨て・市場任せの新自由主義的政治の根本にあるのは、「大企業優先」と「アメリカいいなり」という「二つの異常」を特質とする「自民党政治」です。非正規雇用の増大、異常な高学費、過度な競争教育、消費税増税と法人税減税、米軍基地建設強行、ジェンダー不平等といったこともこの構造の中でつくられてきました。誰が自民党総裁になっても、本質的に青年の願いを実現する政治になりえないのはこの構造があるからです。安倍・菅自公政権の政治路線をただすとともに、その根本にある自民党政治に立ち向かってこそ、青年の願いを実現する新しい政治がつくられます。野党共闘の勝利とともに、「二つの異常」から抜け出す方針を掲げている日本共産党の躍進によって野党連合政権を樹立することが、いま求められているのではないのでしょうか。

(5) 来たる総選挙で日本共産党は、新自由主義を終わらせ命と暮らしを何よりも大切にす政治、気候危機を打開する政治、ジェンダー平等の日本をつくる政治、憲法9条を生かした平和日本をつくる政治の実現を掲げてたたかいます。日本共産党はコロナ危機のもとで青年・国民の苦難軽減に力を尽くしています。野党共闘を提唱するとともに、「二つの異常」から抜け出す根本的な改革の姿勢をもち、資本主義を乗り越えた未来社会論を持っています。創立99周年を迎えた日本共産党は、侵略戦争に一貫して反対するとともに、長年にわたって学費値下げや青年の働き方について、ブレずに真剣に取り組んできた歴史を持っています。青年にとってこれほど頼もしい政党はありません。日本共産党の躍進は、野党連合政権を樹立するために必要であるとともに、青年の願いを実現していくための一番の力になるのではないのでしょうか。

(6) 日本共産党を含む野党連合政権が樹立される条件は大いにあります。2015年の安保法制反対の運動以来、市民と野党の共闘は紆余曲折を経ながらも、着実に前進を築いてきました。2016年の参院選以来の選挙協力の到達は、2021年4月国政三補選・再選挙での野党統一候補全勝、7月東京都議会議員選挙での野党躍進と自公過半数割れ、8月菅首相の地元である横浜市長選挙での野党統一候補勝利というところまで来ています。9月8日には、市民連合を仲立ちとして「集団的自衛権の一部行使を容認する安全保障関連法の違憲部分の廃止」「格差と貧困の是正」「選択的夫婦別姓制度の実現」「原発のない脱炭素社会の追求」など20もの政策協定が結ばれました。これらの政策実現のために「全力を尽くす」という確認も含んでいる政策協定は、野党連合政権樹立に向けた重要な前進です。来たる総選挙は政権交代の可能性が大いにある、青年の要求を実現する政権が誕生する、歴史的総選挙といえるのではないのでしょうか。

## 2、民青同盟は歴史的総選挙「どのよう」に取り組むか

(1) 私たち民青同盟は全国各地、草の根で青年の願い実現に力を尽くしてきました。学生への食料支援活動、青年の願いを議会や自治体・省庁に届ける活動、また、毎回の班会や班企画でも地道に要求実現をおこなってきました。そのなかでいくつもの変化や成果を勝ち取ってきました。「声をあげれば変えられる」ということは私たちの大きな確信です。引き続き、青年の願い実現に取り組みしましょう。同時に確信としたいのは、青年の願いは政治が変わってこそ根本的に実現されるということ、そして相談相手である日本共産党は青年の願い実現にとってなくてはならな

い存在であるということです。次の総選挙で共産党を躍進させて、共産党を含む野党連合政権を樹立する。これが次の総選挙で青年の願いを実現するための、一番確かな道であり、民青同盟としての目標です。この目標達成のために、私たちの持っている力を出し切って取り組むことを呼びかけます。

(2) 具体的な取り組みの基本方向は以下の通りです。心ひとつにやり抜きましょう。

① **地域・職場・学園で共産党支持を広げよう**——**実態に基づいた訴えや願いに根差した対話を大切に**

——共産党躍進で政権交代を起こすために必要なのは、共産党支持を広げることです。SNSも活用しつつ、地域・職場・学園で宣伝・対話に踏み出し、共産党支持を広げましょう。なお、支持を広げる際は「比例は日本共産党」と比例支持から訴えましょう。

——共産党支持を広げる大きな力になるのが、実態に基づいた訴えや願いに根差した対話です。自身や同盟員・周りの青年の実態を集めて「マイ訴え」（「なぜ自分が共産党を応援するのか」というスピーチ原稿）をつくりましょう。対話では、シールボードやアンケートなどを使ってまず相手の願いをよくつかむことを大切にしましょう。

② **「変えよう決議」をあげて「班が主人公」でたたかおう**——**全班・全同盟員が立ち上がる選挙に**

——すべての班で「日本共産党と一緒に政治を変えよう決議」をあげましょう。「変えよう決議」は班の基礎数の過半数の同盟員の賛同であげることができます。電話かけなどの努力を強め一人でも多くの同盟員からの賛同を最後の最後まで追求しつつ、「変えよう決議」シートも活用して、公示までにすべての班が「変えよう決議」をあげましょう。

——「班が主人公」で選挙に取り組むために、すみやかに班会を開催しましょう。班会開催自体を総選挙で新しい政治をつくるたたいの第一歩と位置付けます。すべての班が投票日までの毎週班会に挑戦しましょう。

——「9・8共産党決起集会」、「9・11キックオフ集会」「学生オンラインゼミ」などを全班・全同盟員が学び、青年の切実な願いが実現される道筋と政権交代可能な歴史的情勢を確信に取り組みを強めましょう。

③ **政治は変えられるという展望を青年と大胆に語り合い、ともに取り組む選挙にしよう**

——周りの青年と力を合わせて取り組む選挙にしましょう。地域・職場・学園ごとの後援会・サポーターならびに青年と一緒に宣伝や対話に踏み出すことで、よりいっそう共産党支持を広げられます。つながっているすべての青年を視野に入れ、同盟外の青年がさらに周りの青年に共産党支持を広げていくような取り組みを目指しましょう。

——共産党躍進と野党連合政権樹立によって新しい政治がつけられる展望を周りの青年に広く伝えていくことに挑戦しましょう。苦しい実態から抜け出せる展望は、青年が主体的に政治に向き合い、一緒に選挙に取り組む大きな後押しになります。わかりやすいグラフや表なども有効活用しましょう。

(3) 現在の取り組みの状況は、奮闘している組織があるものの、「変えよう決議」のあがった班はまだ19%にとどまっているなど、遅れています。取り組みを加速させるにあたって、中央委員会として「変えよう決議」シートを新たに作成しましたが、同時に、しっかりと「私たちの持っている力を出し切る」ために、以下二つの方向で突破していくことを呼びかけます。2章(2)①②③の実践全体の中で、この二つを貫きましょう。

一つは、この総選挙を、自らと青年の願いを実現する選挙として、自分たちの選挙としてたしかうことです。私たちや青年は様々な実態を抱え切実な願いを持って生きています。そういった実態や願いとの関係で極めて重要なのが総選挙です。「自民党政治」のもとで優遇されている人たちは、利権を守るために、自らの選挙として総選挙に取り組みます。共産党への攻撃が強まっているのもそのためです。そういった人たちに負けない奮闘が求められます。他人事ではない、自分たちの願いを実現するための選挙としてたしかおうではありませんか。

今一つは、青年に大きな希望を語り広げ、青年の中に共産党躍進と政権交代の波を起こしながらたたかうことです。2中委決議は「青年が『政治に興味がない』といわれる状況は過去のものになりつつある」と解明しました。コロナ危機で困難な青年たちが政治に無関心でいられないという状況はよりいっそう強まりつつあります。すでに加盟者数が前回大会期をこえたことはそのあらわれです。青年への見方をよく深め、青年の前向きな思いを信頼し、青年たちとともに選挙に取り組むことを大事にしていきましょう。青年との共同を掲げてきた民青らしく、大いに希望を語り、青年の中に共産党躍進と政権交代の波を起こしながら、青年と力合わせて壮大なたたかに挑戦しようではありませんか。

### 3、総選挙の中で民青同盟を強く大きくしよう

最後に、民青同盟を強く大きくすることを呼びかけます。この間の同盟での行動と学びの魅力を輝かせ、たたかいのなかで同盟組織を強く大きくする独自の努力をおこないましょう。民青同盟は、コロナ危機に負けず、青年の苦難軽減に力をつくしてきました。民青同盟は、青年から寄せられた願いを掲げ、要請行動をおこない、政治を動かしてきました。民青同盟は、一人では展望の見えづらい社会の中で、願いをもった青年が集まり励まし合ってきたかけがえのない存在です。歴史的総選挙において、青年の願い実現のために共産党躍進で政権交代をおこそう、とタブーなく訴えられる民青同盟を大きくすることは、日本の政治を変えることに直結します。民青同盟を強く大きくして政権交代後によりいっそう大きな役割を果たせる同盟をつくらうではありませんか。

——「三カ月間運動」によって今大会期は993名の仲間を迎えています。加盟を訴えさせしむら増える情勢です。2000名拡大に向けて選挙中にみるべき前進を築きましょう。

——仲間を迎えるための独自追求を重視します。この間の民青の行動や学びの魅力を班でよく交流し、仲間を迎える意義を確認することから始めましょう。その後、拡大目標、名簿、いつだれが民青の紹介をするか、などの相談をおこないます。

以上